

2014年1月1日から2016年12月31日までの間で当院で亡くなった
18歳未満のお子さんのご家族の方へ

研究情報の公開について

当院では下記の臨床研究を実施しておりますので、ご承知おきください。

研究課題名	小児死因究明制度の導入に関する全国版後方視的調査（2014・2016年）
当院の研究責任者	大野 直幹（小児科）
中央研究機関およびその研究責任者	群馬県前橋赤十字病院小児科 日本小児科学会 子どもの死亡登録・検証委員会 溝口史剛
共同研究機関	日本小児科学会「子供の死亡登録・検証委員会」ウェブページ www://http.child-death-review.jp/
本研究の目的	諸外国では小児が亡くなった際に、その詳細な検討を多機関で行い、同様の死亡が新たに発生することを予防するための知見を蓄積する制度（チャイルド・デス・レビュー[CDR]）が整っています。本研究は、本邦でそのような制度を整備していくため、2012年に日本小児科学会で行った地域限定のパイロット研究の方法論を改良して、広く全国規模で情報収集を行い、その有効性を検証し、本邦でCDRが社会実装が可能であるかを検証することを目的としています。
研究期間	倫理委員会承認日から2019年3月31日
研究の方法 （使用する試料等）	・対象となる患者さま：2014年1月1日から2016年12月31日までの間に当院で亡くなった18歳未満のお子さん ・利用する情報：性別、年齢、生活歴、家族歴、出生歴、既往歴、死亡に至った傷病名、現病歴、救急搬送にまつわる状況、蘇生を含む治療内容、各種検査結果、剖検結果、などの各種医療情報。養育と死亡の因果関係、死亡が予防できた可能性とそのための方策
試料/情報の他の研究機関への提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究は厚生労働科学研究費補助金を用いて行われます。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報および知的財産の保障に支障がない範囲内で研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

	<p>情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には対象といたしませんので、2018年11月30日までにご連絡を下さい。それ以降は撤回することが出来ませんのでご了承下さい。</p> <p>電話：086-462-1111</p> <p>担当者：大野 直幹（小児科）</p>
備考	